

第六次白石市総合計画における 指標の達成状況の検証

令和7年3月

白石市

目 次

1	指標の達成状況の検証について	1
	(1) 目的	1
	(2) 検証方法	1
2	検証結果の概要	2
	(1) 達成状況	2
	(2) 伸び率 (R 1→R 5)	3
	(3) 見直しの方向性	3
3	重点戦略・分野目標ごとの検証結果	4
	(1) 重点戦略	4
	(2) 分野目標1 人・文化を育む	8
	(3) 分野目標2 みんなで地域づくりを進める	11
	(4) 分野目標3 暮らしをともに支え合う	15
	(5) 分野目標4 安全・安心を守る	18
	(6) 分野目標5 活力・賑わいを創る	21
	(7) 分野目標6 まちの未来を描く	25

1 指標の達成状況の検証について

(1) 目的

第六次白石市総合計画に掲げた指標について、その達成状況を把握し、その要因や背景を検証するとともに、必要に応じて指標の見直しを検討することを目的として実施しました。

(2) 検証方法

検証にあたっては、すべての指標の実績が確定している令和5年度実績を用い、令和7年度中間値、令和12年度最終目標に対する達成度、令和元年度から令和5年度までの実績の伸び率を検証し、それらを踏まえた見直しの方向性について検討しています。

達成度、伸び率、見直しの方向性の考え方は以下のとおりです。

①達成度

目標値（最終目標）に対する令和5年度実績の割合を達成度とします。

以下の計算式にて算出しています。達成度が100%以上の場合、目標を達成していることを示しています。

$$\text{達成度（\%）} = \text{令和5年度実績} \div \text{目標値（最終目標）}$$

※減少を目指している指標は、目標値（最終目標） $\div$ 令和5年度実績

②伸び率

令和元年度から令和5年度にかけて実績がどのくらい伸びたかを見るものです。

以下の計算式で算出しています。伸び率がマイナスの場合、令和5年度実績が令和元年度実績に比べて低下していることを示しています。

$$\text{伸び率（\%）} = (\text{令和5年度実績} - \text{令和元年度実績}) \div \text{令和元年度実績}$$

※減少を目指している指標は、(令和元年度実績 - 令和5年度実績) $\div$ 令和5年度実績

③見直しの方向性

①、②の結果や指標を取り巻く状況の変化等を踏まえ、指標や最終目標の見直しの方向性を検討しました。

維持	指標及び最終目標を変更しない
拡大	指標は変えず、最終目標を上方修正する
縮小	指標は変えず、最終目標を下方修正する
見直し	指標を変更する

2 検証結果の概要

(1) 達成状況

①中間値（R 7）に対する達成度

令和7年度中間値に対する令和5年度実績の達成度は、100%以上が30指標、80%以上100%未満が35指標、50%以上80%未満が15指標、50%未満が14指標となっており、全体の約7割の指標で80%以上の達成度となっています。

分野目標6で100%以上の指標が多く、重点戦略で50%未満の指標が多くなっています。

	100%以上	80%以上 100%未満	50%以上 80%未満	50%未満
重点戦略1～4	3	1	4	4
分野目標1 人・文化を育む	4	11	2	1
分野目標2 みんなで地域づくりを進める	5	6	1	1
分野目標3暮らしをともに支え合う	4	9	2	2
分野目標4 安全・安心を守る	2	1	2	1
分野目標5 活力・賑わいを創る	5	4	4	3
分野目標6 まちの未来を描く	7	3	0	2
計	30	35	15	14

②最終目標（R12）に対する達成度

令和12年度最終目標に対する令和5年度実績の達成度は、100%以上が15指標、80%以上100%未満が15指標、50%以上80%未満が31指標、50%未満が21指標となっており、全体の約3割の指標で50%未満の達成度となっています。

重点戦略で50%未満の指標が多くなっています。

	100%以上	80%以上 100%未満	50%以上 80%未満	50%未満
重点戦略1～4	1	0	4	7
分野目標1 人・文化を育む	0	2	3	2
分野目標2 みんなで地域づくりを進める	3	3	6	1
分野目標3暮らしをともに支え合う	4	3	8	2
分野目標4 安全・安心を守る	0	1	2	3
分野目標5 活力・賑わいを創る	4	4	5	3
分野目標6 まちの未来を描く	3	2	3	3
計	15	15	31	21

(2) 伸び率（R1→R5）

令和元年度実績から令和5年度実績までの伸び率をみると、100%以上が9指標、50%以上100%未満が4指標、0%以上50%未満が30指標、0%未満が34指標となっており、全体の4割以上の指標で令和元年実績より令和5年実績のほうが低下しています。

	100%以上	50%以上 100%未満	0%以上 50%未満	0%未満
重点戦略1～4	1	1	1	7
分野目標1 人・文化を育む	2	0	9	6
分野目標2 みんなで地域づくりを進める	2	1	3	3
分野目標3暮らしをともに支え合う	0	1	7	5
分野目標4 安全・安心を守る	0	0	3	3
分野目標5 活力・賑わいを創る	4	0	3	8
分野目標6 まちの未来を描く	0	1	4	2
計	9	4	30	34

(3) 見直しの方向性

指標の見直しの方向性について、指標の維持が63指標、目標値の拡大が0指標、目標値の縮小が15指標、指標の見直しが16指標となっています。

分野目標5で見直しの指標が多くなっています。

	維持	拡大	縮小	見直し
重点戦略1～4	10	0	1	1
分野目標1 人・文化を育む	13	0	4	1
分野目標2 みんなで地域づくりを進める	10	0	2	1
分野目標3暮らしをともに支え合う	9	0	7	1
分野目標4 安全・安心を守る	2	0	0	4
分野目標5 活力・賑わいを創る	10	0	1	5
分野目標6 まちの未来を描く	9	0	0	3
計	63	0	15	16

3 重点戦略・分野目標ごとの検証結果

(1) 重点戦略

①達成度

【中間値（R 7）に対する達成度】

	100%以上	80%以上 100%未満	50%以上 80%未満	50%未満
重点戦略1 次代を担う子ども輝き戦略	0	0	1	3
重点戦略2 住民主体の地域づくり戦略	1	0	1	0
重点戦略3 まちの魅力づくり戦略	1	0	2	0
重点戦略4 輝く未来地図戦略	1	1	0	1
計	3	1	4	4

■達成度 100%以上の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	中間値 達成度
地域づくりを担う人材の育成	-	5	5	100.0%
本市に住み続けたい（ずっと住み続けたい） と思う割合	27	60.9	35	174.0%
本市での働きやすさの満足度（満足、まあ満足） の割合	13	20.7	20.0	103.5%

■達成度 50%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	中間値 達成度
子育て支援の満足度（満足、まあ満足）の割合	16	10.1	30	33.7%
子どもを産みやすい環境（産みやすい、どちらか かというと産みやすい）と思う割合	12	5.4	20	27.0%
子どもを育てやすい環境（育てやすい、どちらか かというと育てやすい）と思う割合	32	16.3	40	40.8%
働く場の創出（企業誘致による従業員増加数）	-	0	R3～R7 20人分	0.0%

【最終目標（R12）に対する達成度】

	100%以上	80%以上 100%未満	50%以上 80%未満	50%未満
重点戦略1 次代を担う子ども輝き戦略	0	0	0	4
重点戦略2 住民主体の地域づくり戦略	0	0	1	1
重点戦略3 まちの魅力づくり戦略	1	0	1	1
重点戦略4 輝く未来地図戦略	0	0	2	1
計	1	0	4	7

■達成度 100%以上の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	最終目標 (R12)	最終目標 達成度
本市に住み続けたい（ずっと住み続けたい） と思う割合	27	60.9	40	152.3%

■達成度 50%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	最終目標 (R12)	最終目標 達成度
子どもの教育環境の満足度（満足、まあ満足）の割合	15	17.8	40	44.5%
子育て支援の満足度（満足、まあ満足）の割合	16	10.1	40	25.3%
子どもを産みやすい環境（産みやすい、どちらかというと産みやすい）と思う割合	12	5.4	30	18.0%
子どもを育てやすい環境（育てやすい、どちらかというと育てやすい）と思う割合	32	16.3	50	32.6%
地域での支え合いの満足度（満足、まあ満足）の割合	30	29.7	60	49.5%
市外からの移住世帯数（定住促進事業申請者）	39	36	80	45.0%
働く場の創出（企業誘致による従業員増加数）	-	0	R8～R12 30人分	0.0%

②伸び率（R1→R5）

	100%以上	50%以上 100%未満	0%以上 50%未満	0%未満
重点戦略1 次代を担う子ども輝き戦略	0	0	1	3
重点戦略2 住民主体の地域づくり戦略	0	0	0	1
重点戦略3 まちの魅力づくり戦略	1	0	0	2
重点戦略4 輝く未来地図戦略	0	1	0	1
計	1	1	1	7

■伸び率 100%以上の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	伸び率
本市に住み続けたい（ずっと住み続けたい） と思う割合	27	60.9	125.6%

■伸び率 0%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	伸び率
子育て支援の満足度（満足、まあ満足）の割合	16	10.1	-36.9%
子どもを産みやすい環境（産みやすい、どちらかというと産みやすい）と思う割合	12	5.4	-55.0%
子どもを育てやすい環境（育てやすい、どちらかというと育てやすい）と思う割合	32	16.3	-49.1%
地域での支え合いの満足度（満足、まあ満足）の割合	30	29.7	-1.0%
住みやすさの満足度（満足、まあ満足）の割合	47	39.9	-15.1%
市外からの移住世帯数（定住促進事業申請者）	39	36	-7.7%
観光客入込数	1,198,379	1,111,668	-7.2%

③見直しの方向性

	維持	拡大	縮小	見直し
重点戦略1 次代を担う子ども輝き戦略	4	0	0	0
重点戦略2 住民主体の地域づくり戦略	2	0	0	0
重点戦略3 まちの魅力づくり戦略	2	0	1	0
重点戦略4 輝く未来地図戦略	2	0	0	1
計	10	0	1	1

■縮小の指標

指 標	理 由
市外からの移住世帯数 (定住促進事業申請者)	国土交通省が公開している「新設住宅着工戸数の調査データ」によると、2006 年度から減少傾向が続いており、直近のデータでは 2006 年度の 2/3 まで減少している状況である。また、新設住宅着工戸数の減少は今後も続くと予想されており、2040 年度には 2006 年度の 1/2 まで減少することが見込まれているため。

■見直しの指標

指 標	理 由
働く場の創出（企業誘致による従業員増加数）	企業誘致のほか、増設等に伴う従業員数を増やすことで、より一層の働く場の創出につなげるため。（→働く場の創出（企業誘致及び増設等による従業員増加数））

(2) 分野目標1 人・文化を育む

①達成度

【中間値（R7）に対する達成度】

	100%以上	80%以上 100%未満	50%以上 80%未満	50%未満
1-1 学校教育の充実	3	8	0	0
1-2 地域・家庭の教育力の向上	0	1	1	0
1-3 生涯学習・スポーツの推進	1	1	0	0
1-4 歴史遺産・伝統文化の継承と活用	0	1	1	1
計	4	11	2	1

■達成度 100%以上の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	中間値 達成度
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の点数 (中学校男子)	40.55	43.13	全国平均以上	104.4%
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の点数 (中学校女子)	49.68	48.00	全国平均以上	101.7%
学校は楽しいと思う児童生徒の割合 (中学校)	74.5	85.9	全国平均以上	102.5%
課題解決型の共同学習に取り組む地区数	3	7	6	116.7%

※全国体力・運動能力、運動習慣等調査の点数、学校は楽しいと思う児童生徒の割合の達成度は、本市の点数／全国の点数で算出

■達成度 50%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	中間値 達成度
広報しろいし・市公式サイトなどへの記事 掲載回数	1	5	12	41.7%

【最終目標（R12）に対する達成度】

	100%以上	80%以上 100%未満	50%以上 80%未満	50%未満
1-1 学校教育の充実	0	0	0	0
1-2 地域・家庭の教育力の向上	0	1	0	1
1-3 生涯学習・スポーツの推進	0	1	1	0
1-4 歴史遺産・伝統文化の継承と活用	0	0	2	1
計	0	2	3	2

■達成度 50%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	最終目標 (R12)	最終目標 達成度
学校支援ボランティア活動回数	1,174	627	1,291	48.6%
広報しろいし・市公式サイトなどへの記事 掲載回数	1	5	20	25.0%

②伸び率 (R1→R5)

	100%以上	50%以上 100%未満	0%以上 50%未満	0%未満
1-1 学校教育の充実	0	0	8	3
1-2 地域・家庭の教育力の向上	0	0	1	1
1-3 生涯学習・スポーツの推進	1	0	0	1
1-4 歴史遺産・伝統文化の継承と活用	1	0	0	1
計	2	0	9	6

■伸び率 100%以上の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	伸び率
課題解決型の共同学習に取り組む地区数	3	7	116.7%
広報しろいし・市公式サイトなどへの記事 掲載回数	1	5	400.0%

■伸び率 0%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	伸び率
全国学力・学習状況調査の平均正答率(小学校 算数)	93.0	89.9	-3.3%
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の点数 (小学校 男子)	98.0	97.2	-0.8%
学校は楽しいと思う児童生徒の割合 (小学生)	100.7	99.3	-1.4%
学校支援ボランティア活動回数	1,174	627	-46.6%
スポーツ少年団加入率	13.7	11.9	-13.1%
地域の歴史文化を紹介する講演会の開催回 数	3	2	-33.3%

※全国学力・学習状況調査の平均正答率の現状値、実績値は、本市の点数／全国の点数で算出

③見直しの方向性

	維持	拡大	縮小	見直し
1-1 学校教育の充実	11	0	0	0
1-2 地域・家庭の教育力の向上	1	0	1	0
1-3 生涯学習・スポーツの推進	1	0	1	0
1-4 歴史遺産・伝統文化の継承と活用	0	0	2	1
計	13	0	4	1

■縮小の指標

指 標	理 由
学校支援ボランティア活動回数	学校支援ボランティア活動がコロナ前の水準に戻っていないことや、少子化に伴う児童数減少により学校からのボランティア要請が減少したこと、またボランティアの高齢化による人材不足などで活動回数が減少しており、実績値と中間値・目標値に乖離があることから、中間値を実績値直近3年の平均値とし、現状値（R1）の水準を超えることを最終目標とするため。
スポーツ少年団加入率	近年の出生率低下による子どもの減少に加え、スポーツ少年団活動以外にも多種多様な活動が増えてきており、実績値と中間値・目標値に乖離があることから、中間値を実績値直近3年の平均値とし、現状値（R1）の水準を超えることを最終目標とするため。
地域の歴史文化を紹介する講演会の開催回数	講演会のイベントに限らず、企画展を開催するなど、様々な世代に、様々な形で白石の歴史文化を紹介する機会を設け、講演会に限らず、企画展の開催等にも注力するため。
広報しろいし・市公式サイトなどへの記事掲載回数	大河ドラマで主人公になっている人物など、市民等が関心がある要素を取り入れながら、その人物と白石の歴史との関連について紹介した内容の掲載など、回数を減らしても内容が濃く、工夫した記事の掲載に努めるため。

■見直しの指標

指 標	理 由
ワークショップ・講座などの開催回数	講座の回数は、その講座の目的が達成してしまうと終了し、一時的に回数が減少に転じてしまうなど、不安定な指標となることから、講座や講演会等の内容を評価する（満足度）指標に見直すため。（→講演会開催等による満足度（講演会のアンケートで参加者が満足と答えた割合））

(3) 分野目標2 みんなで地域づくりを進める

①達成度

【中間値（R7）に対する達成度】

	100%以上	80%以上 100%未満	50%以上 80%未満	50%未満
2-1 これからの時代に対応したコミュニティの形成	1	1	0	0
2-2 持続可能な多機能型自治の形成	2	0	0	1
2-3 協働のまちづくりの推進	1	0	1	0
2-4 市民と行政の情報の共有化	0	2	0	0
2-5 持続可能な行財政運営	1	2	0	0
2-6 社会の変化に対応できる職員の育成・確保	0	1	0	0
計	5	6	1	1

■達成度 100%以上の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	中間値 達成度
通いの場の活動地区数（週1回以上活動）	6	8	7	114.3%
各種研修会の開催回数	0	4	2	200.0%
相互交流会の実施回数	0	7	2	350.0%
地区計画の策定件数	0	5	3	166.7%
実質公債費比率	6.1	3.7	6	162.2%

■達成度 50%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	中間値 達成度
ふるさと納税における地域団体の御礼品の件数	0	0	3	0.0%

【最終目標（R12）に対する達成度】

	100%以上	80%以上 100%未満	50%以上 80%未満	50%未満
2-1 これからの時代に対応したコミュニティの形成	0	1	1	0
2-2 持続可能な多機能型自治の形成	2	0	0	1
2-3 協働のまちづくりの推進	0	0	2	0
2-4 市民と行政の情報の共有化	0	0	2	0
2-5 持続可能な行財政運営	1	1	1	0
2-6 社会の変化に対応できる職員の育成・確保	0	1	0	0
計	3	3	6	1

■達成度 100%以上の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	最終目標 (R12)	最終目標 達成度
各種研修会の開催回数	0	4	2	200.0%
相互交流会の実施回数	0	7	2	350.0%
実質公債費比率	6.1	3.7	6	162.2%

■達成度 50%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	最終目標 (R12)	最終目標 達成度
ふるさと納税における地域団体の御礼品の件数	0	0	9	0.0%

②伸び率（R1→R5）

	100%以上	50%以上 100%未満	0%以上 50%未満	0%未満
2-1 これからの時代に対応したコミュニティの形成	0	0	2	0
2-2 持続可能な多機能型自治の形成	0	0	0	0
2-3 協働のまちづくりの推進	0	0	0	1
2-4 市民と行政の情報の共有化	1	0	0	1
2-5 持続可能な行財政運営	1	1	0	1
2-6 社会の変化に対応できる職員の育成・確保	0	0	1	0
計	2	1	3	3

■伸び率 100%以上の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	伸び率
LINE、Facebook の友だち数	2,171	6,377	193.7%
実質公債費比率	6.1	3.7	164.9%

■伸び率 0%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	伸び率
市民活動支援センターの総使用件数	319	183	-42.6%
市ホームページの閲覧数	639,171	577,257	-9.7%
ふるさと納税寄附金額	564,739	524,361	-7.1%

③見直しの方向性

	維持	拡大	縮小	見直し
2-1 これからの時代に対応したコミュニティの形成	2	0	0	0
2-2 持続可能な多機能型自治の形成	3	0	0	0
2-3 協働のまちづくりの推進	2	0	0	0
2-4 市民と行政の情報の共有化	0	0	1	1
2-5 持続可能な行財政運営	2	0	1	0
2-6 社会の変化に対応できる職員の育成・確保	1	0	0	0
計	10	0	2	1

■縮小の指標

指 標	理 由
市ホームページの閲覧数	市ホームページは依然として重要な情報取得のツールであるものの、現在は様々な SNS の普及や利用者の増加等により、情報取得の方法が多様化している。今後も HP に限らず、市公式 SNS などの様々な媒体で情報発信を強化していくため。
実質公債費比率	今後の見通しとしては、 ・子育て支援拠点の整備や老朽化している公共施設の更新・長寿命化など、大規模な公共事業を実施する予定であること ・一部事務組合でも、消防施設整備を予定しており、他団体に対する公債費負担も増加する見込みであること ・病院事業について、令和 5 年度から市の病院事業となり、公債費のすべてが本市の負担となったこと ということで、公債費の増加が見込まれており、当初計画とは大きく状況が変化している。 しかしながら、大型の公共事業を進めるにあたって、地方債は大変重

	要な財源であり、活用なくしては今後の事業を進めることができないものと考えている。そのため、現在の目標値から設定を上昇させる必要があると考える。 このことを考慮しながらも、標準財政規模に対する公債費を抑える必要があることから、目標値を類似団体の過去 5 年の平均値とする必要があるため。
--	--

■見直しの指標

指 標	理 由
LINE、Facebook の友だち数	現在、市公式 SNS アカウントとして LINE、Facebook、Instagram、YouTube を運用し、各媒体で様々な情報発信を行っている。また、情報発信力強化元年に位置付けた令和 6 年度に取り組んだ「SNS 情報発信力強化業務委託事業」の効果もあり、特に Instagram のフォロワーが増加していることから今後も SNS 研修等を実施し、Instagram、YouTube を含めた情報発信力を向上させていくため。(→公式 SNS アカウントの総ともだち数、フォロワー数 (LINE、Facebook 、Instagram、YouTube))

(4) 分野目標3 暮らしをともに支え合う

①達成度

【中間値（R7）に対する達成度】

	100%以上	80%以上 100%未満	50%以上 80%未満	50%未満
3-1 地域福祉の推進	1	1	0	0
3-2 子ども・子育て支援の充実	2	1	0	0
3-3 高齢者福祉の充実	0	2	0	0
3-4 障がい者福祉の充実	1	0	0	1
3-5 地域医療体制の充実と健康づくりの推進	0	5	2	1
計	4	9	2	2

※100%以上には「達成」も含まれる。

■達成度 100%以上（達成）の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	中間値 達成度
地域包括ケアシステムの構築	未構築	構築	構築	達成
待機児童数	26	0	0	達成
こじゅうろうキッズランド来館者数	84,960	91,747	85,000	107.9%
地域生活支援拠点の整備	未整備	整備	整備	達成

■達成度 50%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	中間値 達成度
成年後見制度利用数	0	0	1	0.0%
がん検診受診率（胃がん）	17.0	16.8	40	42.0%

【最終目標（R12）に対する達成度】

	100%以上	80%以上 100%未満	50%以上 80%未満	50%未満
3-1 地域福祉の推進	1	0	1	0
3-2 子ども・子育て支援の充実	2	1	0	0
3-3 高齢者福祉の充実	0	1	1	0
3-4 障がい者福祉の充実	1	0	0	1
3-5 地域医療体制の充実と健康づくりの推進	0	1	6	1
計	4	3	8	2

■達成度 100%以上の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	最終目標 (R12)	最終目標 達成度
地域包括ケアシステムの構築	未構築	構築	構築	達成
待機児童数	26	0	0	達成
こじゅうろうキッズランド来館者数	84,960	91,747	86,000	106.7%
地域生活支援拠点の整備	未整備	整備	整備	達成

■達成度 50%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	最終目標 (R12)	最終目標 達成度
成年後見制度利用数	0	0	1	0.0%
がん検診受診率（胃がん）	17.0	16.8	40	33.6%

②伸び率（R1→R5）

	100%以上	50%以上 100%未満	0%以上 50%未満	0%未満
3-1 地域福祉の推進	0	0	1	0
3-2 子ども・子育て支援の充実	0	0	1	1
3-3 高齢者福祉の充実	0	1	0	1
3-4 障がい者福祉の充実	0	0	0	0
3-5 地域医療体制の充実と健康づくりの推進	0	0	5	3
計	0	1	7	5

■伸び率 0%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	伸び率
乳幼児健診受診者数（3歳6カ月児健康診査受診率）	98.7	93.6	-5.2%
要介護（要支援）認定者認定率	17.4	17.9	-6.3%
メタボリックシンドローム及び予備群該当率	36.8	39.1	-5.9%
がん検診受診率（胃がん）	17.0	16.8	-1.2%
がん検診受診率（乳がん）	37.5	36.1	-3.7%

③見直しの方向性

	維持	拡大	縮小	見直し
3-1 地域福祉の推進	2	0	0	0
3-2 子ども・子育て支援の充実	2	0	0	1
3-3 高齢者福祉の充実	2	0	0	0
3-4 障がい者福祉の充実	2	0	0	0
3-5 地域医療体制の充実と健康づくりの推進	1	0	7	0
計	9	0	7	1

■縮小の指標

指 標	理 由
メタボリックシンドローム及び予備群該当率	国民健康保険被保険者の年齢等の構成割合を考慮し、これまでの推移を踏まえて見直しする必要があるため。
がん検診受診率	市の検診受診率の現状を踏まえて目標値を見直しする必要があるため。(令和7年度からの第3次健康プランは3月に決定するため、中間評価、目標値は暫定)
胃がん	
肺がん	
大腸がん	
子宮頸がん	
乳がん	
前立腺がん	

■見直しの指標

指 標	理 由
待機児童数	少子化が進行する中においても、本市で令和6年9月に策定した「白石市幼児教育・保育のあり方に関する基本方針」に基づく取組や社会情勢の変化などに伴い、(低年齢児の保育ニーズの増加など) 保育ニーズが変動していくことが見込まれるため。(→待機児童数ゼロの維持)

(5) 分野目標4 安全・安心を守る

①達成度

【中間値（R7）に対する達成度】

	100%以上	80%以上 100%未満	50%以上 80%未満	50%未満
4-1 防災・減災対策の充実	0	0	1	0
4-2 交通安全・防犯対策の充実	1	1	1	0
4-3 地域における防災力の強化	1	0	0	0
4-4 消費者行政の推進	0	0	0	1
計	2	1	2	1

■達成度 100%以上の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	中間値 達成度
交通安全教室の実施回数（保育園、幼稚園、小学校、中学校）	23	28	28	100.0%
自主防災組織補助金交付事業の利用団体数	60	65	65	100.0%

■達成度 50%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	中間値 達成度
消費者被害防止の啓発活動・出前講座の実施回数	25	8	30	26.7%

【最終目標（R12）に対する達成度】

	100%以上	80%以上 100%未満	50%以上 80%未満	50%未満
4-1 防災・減災対策の充実	0	0	0	1
4-2 交通安全・防犯対策の充実	0	0	2	1
4-3 地域における防災力の強化	0	1	0	0
4-4 消費者行政の推進	0	0	0	1
計	0	1	2	3

■達成度 50%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	最終目標 (R12)	最終目標 達成度
総合防災訓練参加者数	3,687	2,148	5,000	43.0%
高齢者向け研修会の開催回数	1	1	3	33.3%
消費者被害防止の啓発活動・出前講座の実施回数	25	8	36	22.2%

②伸び率（R1→R5）

	100%以上	50%以上 100%未満	0%以上 50%未満	0%未満
4-1 防災・減災対策の充実	0	0	0	1
4-2 交通安全・防犯対策の充実	0	0	2	1
4-3 地域における防災力の強化	0	0	1	0
4-4 消費者行政の推進	0	0	0	1
計	0	0	3	3

■伸び率 0%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	伸び率
総合防災訓練参加者数	3,687	2,148	-41.7%
防犯実働隊の隊員数	148	139	-6.1%
消費者被害防止の啓発活動・出前講座の実施回数	25	8	-68.0%

③見直しの方向性

	維持	拡大	縮小	見直し
4-1 防災・減災対策の充実	0	0	0	1
4-2 交通安全・防犯対策の充実	0	0	0	3
4-3 地域における防災力の強化	1	0	0	0
4-4 消費者行政の推進	1	0	0	0
計	2	0	0	4

■見直しの指標

指 標	理 由
総合防災訓練参加者数	本市の総合防災訓練の参加者数は、コロナ後、市内小中学生全員が授業日として参加していることもあり増加しているが、防災・減災対策は、「自助・共助・地域防災力」の向上が求められることから、市民の防災施策の満足度を上げることで、より一層の防災施策の推進につなげるため。（→市民の防災施策の満足度（防犯・防災対策における「満足」「まあ満足」の割合））
交通安全教室の実施回数（保育園、幼稚園、小学校、中学校）	交通安全教室は、幼稚園・保育園・小中学校が年1回程度の開催としていたり、本市への講師派遣を不要としている園・学校があったりすることから、開催回数以外の指標に見直す必要があるため。（→子どもの事故件数）
高齢者向け研修会の開催回数	高齢者向け研修会の参加者は、自治会長や自治会の交通安全担当者がほとんどで、開催するたびに同様の顔ぶれとなる。自治会内でも、このような研修会への参加を負担に感じている方々もあり、費用対効果を考えると開催回数以外の指標に見直す必要があるため。（→高齢者の事故件数）
防犯実働隊の隊員数	防犯実働隊員は、自治会や各地区の防犯担当者が担っていることが多く、高齢化と若年隊員の不足によって担い手不足が深刻となっているため。（→刑法犯の認知件数）

(6) 分野目標5 活力・賑わいを創る

①達成度

【中間値（R7）に対する達成度】

	100%以上	80%以上 100%未満	50%以上 80%未満	50%未満
5-1 農林業の振興	4	1	1	0
5-2 商工業の振興	0	1	0	1
5-3 観光の振興	0	0	1	1
5-4 雇用・就労支援の充実	1	1	0	0
5-5 交流活動の促進	0	0	1	1
5-6 移住・定住の促進	0	1	1	0
計	5	4	4	3

■達成度 100%以上の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	中間値 達成度
農産物直売所連絡協議会加盟店売上額	213,900	253,089	250,000	101.2%
みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示 制度取得者数	3	10	6	166.7%
人・農地プランの実質化	30	100	60	166.7%
新規就農者数（人/年）	1	5	2	250.0%
創業者数（人/年）	1	3	3	100.0%

■達成度 50%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	中間値 達成度
目標年次までの新規立地企業数（累計）	0	0	5	0.0%
外国人の宿泊客数	2,957	1,569	5,100	30.8%
鬼小十郎まつりにおける外国人来場者数	150	42	180	23.3%

【最終目標（R12）に対する達成度】

	100%以上	80%以上 100%未満	50%以上 80%未満	50%未満
5-1 農林業の振興	3	2	1	0
5-2 商工業の振興	0	1	0	1
5-3 観光の振興	0	0	1	1
5-4 雇用・就労支援の充実	1	1	0	0
5-5 交流活動の促進	0	0	1	1
5-6 移住・定住の促進	0	0	2	0
計	4	4	5	3

■達成度 100%以上の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	最終目標 (R12)	最終目標 達成度
みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示 制度取得者数	3	10	10	100.0%
人・農地プランの実質化	30	100	80	125.0%
新規就農者数（人/年）	1	5	3	166.7%
創業者数（人/年）	1	3	3	100.0%

■達成度 50%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	最終目標 (R12)	最終目標 達成度
目標年次までの新規立地企業数（累計）	0	0	10	0.0%
外国人の宿泊客数	2,957	1,569	8,265	19.0%
鬼小十郎まつりにおける外国人来場者数	150	42	300	14.0%

②伸び率（R1→R5）

	100%以上	50%以上 100%未満	0%以上 50%未満	0%未満
5-1 農林業の振興	3	0	2	1
5-2 商工業の振興	0	0	0	1
5-3 観光の振興	0	0	0	2
5-4 雇用・就労支援の充実	1	0	0	1
5-5 交流活動の促進	0	0	0	2
5-6 移住・定住の促進	0	0	1	1
計	4	0	3	8

■伸び率 100%以上の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	伸び率
みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示 制度取得者数	3	10	233.3%
人・農地プランの実質化	30	100	233.3%
新規就農者数（人/年）	1	5	400.0%
創業者数（人/年）	1	3	200.0%

■伸び率 0%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	伸び率
認定農業者数（累計）	74	66	-10.8%
製造業の製造品出荷額	16,602,453	15,414,683	-7.2%
市内観光宿泊客数	135,916	117,510	-13.5%
外国人の宿泊客数	2,957	1,569	-46.9%
市内事業所従業員数	13,630	13,186	-3.3%
市民体育大会、地区体育大会の参加者数	4,470	3,230	-27.7%
鬼小十郎まつりにおける外国人来場者数	150	42	-72.0%
移住相談件数	29	28	-3.4%

③見直しの方向性

	維持	拡大	縮小	見直し
5-1 農林業の振興	2	0	0	4
5-2 商工業の振興	1	0	0	1
5-3 観光の振興	1	0	1	0
5-4 雇用・就労支援の充実	2	0	0	0
5-5 交流活動の促進	2	0	0	0
5-6 移住・定住の促進	2	0	0	0
計	10	0	1	5

■縮小の指標

指 標	理 由
外国人の宿泊客数	R5 達成度（R5/目標）が 19.0%と市内観光宿泊客数と比較して低くなっている。これは、日本人旅行者に比べ外国人旅行者が新型コロナウイルス感染症蔓延以前ほど戻ってきていないためである。また、東北への訪日外国人観光客においても、国全体の1%台に留まっており、訪日外国人の入国規制緩和後の旅行先は、東京・大阪・京都などのいわゆるゴールデンルートに集中していることから、中間値は令和元年度と同等の3,000人、目標値は令和元年度の外国人宿泊割合（外国人の宿泊客数/市内観光宿泊客数）2.2%を上回る2.5%を165,300人に乗じた4,132人と見直すため。

■見直しの指標

指 標	理 由
みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度 取得者数	計画策定時、環境負荷低減の取り組みを評価できる制度は、県認定のみであったが、法改正により、国認定の制度が新設されたため。 （→環境負荷低減に取り組む農業者数（累計））
人・農地プランの実質化	法改正による制度変更により、人・農地プランから地域計画に変更となったため。（→地域計画の目標地図完成度）
新規就農者数（人/年）	将来の担い手確保を見据えた支援を行い、就農後の安定的で収益性の高い経営を目指すため。（→新規就農者数（累計））
認定農業者数（累計）	営農者の経営安定に向けて、認定農業者移行の支援を行い、地域農業の担い手となる農業者の育成・確保を図るため。（→新規認定農業者数（累計））
目標年次までの新規立 地企業数（累計）	企業誘致のほか、増設等に伴う企業数を増やすことで、より一層の商工業の振興につなげるため。（→目標年次までの新規立地及び増設等企業数（累計））

(7) 分野目標6 まちの未来を描く

①達成度

【中間値（R7）に対する達成度】

	100%以上	80%以上 100%未満	50%以上 80%未満	50%未満
6-1 豊かな自然環境の維持	1	0	0	1
6-2 快適な生活環境の構築	2	0	0	1
6-3 道路・公共交通の整備	1	2	0	0
6-4 魅力ある都市空間の整備	3	1	0	0
計	7	3	0	2

■達成度 100%以上の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	中間値 達成度
環境関連イベントなどの開催回数	0	1	1	100.0%
水道管路の更新率（累計）	3.26	5.63	5.00	112.6%
市内一斉クリーン作戦でのごみ回収量	26.38	22.65	現状値より 削減	達成
住民主体の移動・外出サービスの導入地区数	0	1	1	100.0%
都市計画道路の見直し進捗率	83	100	100	100.0%
景観法に基づく景観計画の策定進捗率	67	100	100	100.0%
都市公園施設の長寿命化の推進率	78	82	80	102.5%

■達成度 50%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	最終目標 (R7)	中間値 達成度
生態系調査の実施回数（累計）	0	0	1	0.0%
空き家等の利活用戸数（累計）	0	0	7	0.0%

【最終目標（R12）に対する達成度】

	100%以上	80%以上 100%未満	50%以上 80%未満	50%未満
6-1 豊かな自然環境の維持	1	0	0	1
6-2 快適な生活環境の構築	0	0	1	1
6-3 道路・公共交通の整備	0	1	1	1
6-4 魅力ある都市空間の整備	2	1	1	0
計	3	2	3	3

■達成度 100%以上の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	最終目標 (R12)	最終目標 達成度
環境関連イベントなどの開催回数	0	1	1	100.0%
都市計画道路の見直し進捗率	83	100	100	100.0%
景観法に基づく景観計画の策定進捗率	67	100	100	100.0%

■達成度 50%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	最終目標 (R12)	最終目標 達成度
生態系調査の実施回数（累計）	0	0	1	0.0%
空き家等の利活用戸数（累計）	0	0	15	0.0%
住民主体の移動・外出サービスの導入地区数	0	1	5	20.0%

②伸び率（R1→R5）

	100%以上	50%以上 100%未満	0%以上 50%未満	0%未満
6-1 豊かな自然環境の維持	0	0	0	0
6-2 快適な生活環境の構築	0	1	0	0
6-3 道路・公共交通の整備	0	0	1	1
6-4 魅力ある都市空間の整備	0	0	3	1
計	0	1	4	2

■伸び率 0%未満の指標

	現状値 (R1)	実績値 (R5)	伸び率
市民バス利用者数	98,556	81,408	-17.4%
地域団体による街区公園・緑地の維持管理率	77	74	-3.9%

③見直しの方向性

	維持	拡大	縮小	見直し
6-1 豊かな自然環境の維持	2	0	0	0
6-2 快適な生活環境の構築	3	0	0	0
6-3 道路・公共交通の整備	3	0	0	0
6-4 魅力ある都市空間の整備	1	0	0	3
計	9	0	0	3

■見直しの指標

指 標	理 由
都市計画道路の見直し進捗率	令和6年度現在、都市計画道路全 13 路線 35,340m のうち改良済である区間が 21,257m（改良率 60.2%）である。今後の都市計画道路整備の進捗状況を具体的に計るため。（→都市計画道路の進捗）
景観法に基づく景観計画の策定進捗率	公園・緑地は、景観向上の役割がある。令和6年 12 月に国が示した「都市公園法運用指針」では、豊かさと潤いを実感できる国民生活を実現するには、一人当たり 10 m ² 以上の整備が必要であるとされており、平成6年建設省決定の「緑の政策大綱」では、目標値を「1人あたりの都市公園等面積 20 m ² 」と具体的に設定していることから、目標値 20 m ² を引用し、市民の豊かさと潤いを実感できる魅力ある都市空間の整備指標に見直すため。（→一人当たりの都市公園面積）
都市公園施設の長寿命化の推進率（令和元年度～令和5年度）	前回の長寿命化計画は令和6年度をもって終了。令和6年度から先 10 年間は新たな長寿命化計画に基づき事業を進める。新たな計画では、全施設数 937 施設、うち「概ね健全である（B判定以上）」が 699 施設、「健全ではない（C判定以下）」が 238 施設ある。「概ね健全である（B判定以上）」は全体の 74.6%を占めているが、本計画ではこれを5年後に 87.3%、10 年後に 100%とすることを目標としているため。（→都市公園施設の長寿命化の推進率（令和6年度～令和15年度））